ISSN 2435-368X（オンライン）

The 40th Kinki Occupational Therapy Congress

第40回 近畿作業療法学会

「らしさ」を見い出す、取り戻す

会 期　2020年 5月18日(月)～6月17日(水)　　会 場　WEB開催

学会長　天田 美恵　滋賀県立小児保健医療センター

主 催　近畿作業療法士連絡協議会　　担 当　一般社団法人 滋賀県作業療法士会

宮下 幸士（みやした　ゆきお）

1973年生まれ　滋賀県在住　1997年から『やまなみ工房』に所属

電卓にスケジュール帳、プロ野球のスコアブックに支援員の出勤状況、送迎バスの運行管理まで常にデータ管理が日課の彼は、作品制作においてもその几帳面な性格が表れている。

絵画では、モチーフを描いた後、数ミリ間隔の升目を画面いっぱいにブロックごとに描き、一つひとつゆっくり丁寧に塗りこんでゆく手法を用いる。大きなものでは制作期間に1年を要することもある。また、英字新聞の文字を書き写した作品も、一文字づつ形で捉え書き連ねていく。これらは、創作というより行為よりは作業と呼ぶ方が彼には適切なのかもしれない。真面目で、作業にも日々熱心に取り組む彼の仕事は、まさに職人というべき仕事なのだろう。

Yukio Miyashita

born in 1973 / living in Shiga / at YAMANAMI since 1997

Yukio Miyashita loves data management. The type of data he is interested in varies greatly – the scores of the professional baseball teams, attendance records of the care workers, bus time table, etc. He treasures his calculator and organizer. His earnest character reflects on his artworks. One of the distinctive features of Yukio Miyashita's drawing style is a motif of tiny squares that he meticulously colors. It can take him a year to finish a piece. Another characteristic feature of his work is copying letters from English newspapers, although it seems to be more of a task than an artistic creation to him.

第40回
近畿作業療法学会

The 40th Kinki Occupational Therapy Congress

「らしさ」を見い出す、取り戻す

会　期 ● 2020年5月18日(月)～6月17日(水)

会　場 ● WEB開催

学会長 ● 天田　美恵　滋賀県立小児保健医療センター

主　催 ● 近畿作業療法士連絡協議会

担　当 ● 一般社団法人 滋賀県作業療法士会

INDEX

実 施 要 項 …… 3

学会長あいさつ …… 4

参加者の皆さまへ …… 6

発表者の皆さまへ …… 6

一般演題（抄録） …… 7

近畿作業療法士連絡協議会 連携６事業報告 …… 49

次回「第41回近畿作業療法学会」のご案内 …… 56

第40回近畿作業療法学会 学会組織 …… 57

実 施 要 項

開催形態変更

本学会は、当初“栗東芸術文化会館 ―さきら―”にて集会型学会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大状況に鑑み、集会型学会を中止し、WEB 開催とする決定を致しました。

これまで会場での集会型開催に際しご尽力を賜りました関係各位、また会員の研鑽を深めるべくご理解とご準備を頂きました講師先生方には、心より感謝申し上げますとともに、開催を変更させていただきましたことに衷心よりお詫びを申し上げます。

WEB 開催概要

会　　期　2020年5月18日（月）～6月17日（水）

学 会 長　天田 美恵
滋賀県立小児保健医療センター

テ ー マ　「らしさ」を見い出す、取り戻す

主　　催　近畿作業療法士連絡協議会

担　　当　一般社団法人 滋賀県作業療法士会

事 務 局　公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院内
〒523-8503 滋賀県近江八幡市鷹飼町744
E-mail：kinki40shiga@gmail.com

学会長あいさつ

第40回近畿作業療法学会の開催にあたって

第40回近畿作業療法学会
学会長　**天田 美恵**

第40回近畿作業療法学会は、2020年5月10日（日）に滋賀県栗東芸術文化会館SAKIRA（さきら）で開催を予定しておりましたが、世界的に未曾有の事態となった新型コロナウィルス感染症の拡大防止の観点から、集会形態を断念し、5月18日（月）～6月17日（水）を会期としたWeb開催と致します。

今学会のテーマは「“らしさ”を見い出す、取り戻す」といたしまして、当事者・対象者の方はもちろん、支えるご家族や取り巻く周囲の方々の“らしさ”も大切にした支援について考える機会にしたいと考えております。

取り巻く支援者の中には、私たち作業療法士も含まれます。作業療法士らしさ、その中での自分らしさを見い出し、どのような支援がその人らしいのか、望まれる支援のめざす方向性や内容を今一度考えるきっかけにしていただければ幸いです。

開催形態の変更に伴い、予定しておりました下記の特別講演、教育講演、基調講演、精神障害領域シンポジウム、特別企画、ライブパフォーマンスは、非常に残念ながらご講演および抄録の公開を中止させていただきます。

近畿作業療法士連絡協議会連携6事業報告は、抄録とともに報告用資料を公開いたします。各府県士会の事業方針、内容や連携について知見を深める機会にお役立て下さい。

この度の急遽の変更により、近畿の作業療法士会会員の皆様に混乱や不利益が生じることがないよう、さらに、学術的にも満足度の高い学会となりますよう、本学会実行委員一同、近畿作業療法士連絡協議会とともに対応につきましては検討を重ねて進めて参りました。

皆様の健康と安全を守るため、何卒、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

尚、講演講師の諸先生方をはじめ、多くの方々からご支持、ご支援の声を頂戴いたしました。この場をお借りいたしまして深謝申し上げます。

中止させていただくことになったプログラムのご紹介（敬称略させていただきます）

特別講演

『ヒト・人間・ひと』と『ロボット・機器人・ろぼっと』の共生社会のあり方

浅田 稔（大阪大学先導的学際研究機構 共生知能システム研究センター 戦略顧問）

教育講演1

人間作業モデルから見える作業療法の評価、実際、効果 ～事例を通して～

山田 孝（一般社団法人 人間作業モデル研究所 代表理事）

教育講演2

子どもから大人への育ちを支える

小西 紀一（姫路獨協大学 名誉教授）

教育講演3

高次脳機能障害者の運転評価の信頼性の向上と支援に向けて

伊藤 恵美（関西医療大学 保健医療学部 作業療法学科 教授）

基調講演

すべては幸せを感じるために

山下 完和（社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房 施設長）

精神障害領域シンポジウム

日本作業療法士協会47都道府県委員会精神科OTワーキング&
滋賀県作業療法士会・京都府作業療法士会 精神科OT 合同企画

『精神科OTの妙技 ～2019埼玉編
―47士会をつなぎ、伝え、創り上げるOT妙技リレー研修』に参加して
～皆さん！2020年は滋賀からコラボレーションはじめませんか？～

平山 聡（京都府作業療法士会 会長）

嶋川 昌典（びわこリハビリテーション専門職大学 助教）

特別企画

「ゆきらしさを見い出す、取り戻す ～パラスイムへの挑戦～」

岩倉 慶和（ゆき隊 独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター）

ライブパフォーマンス

「音楽という作業を用いた、共生社会へ向けた活動」

慎 the spilit & DJ MINIYON

佐々木 慎（慎 the spilit） （豊郷病院）

田中 孝史（DJ MINIYON）（ヴォーリズ老健センター）

参加者の皆さまへ

1. 閲覧権限とパスワード

抄録類、連携6事業報告資料に関しましては、特に制限なく閲覧が可能です。
会員専用ページ（一般演題発表資料）へ入るためには下記パスワードが必要となります。
会員専用ページの閲覧権限は、日本作業療法士会会員であり、なおかつ近畿圏（2府4県）の各作業療法士会に所属の会員となりますので、他者に漏らさないように注意ください。

（**注意**）パスワードの送付は各府県士会事務局に会員名簿をご提供いただき、その名簿を基に発送しております。

2. 参加費

今回の WEB 開催の参加費、演題発表は無料です。また参加に関する生涯教育ポイントの付与はありません。事前登録で申し込み、参加費を入金いただいた方には別途事務局より返金手続きのご案内をしております。案内が届いていない方はお手数ですが、**5月18日（月）まで**に「事務局：kinki40shiga@gmail.com」までご連絡ください。上記期日以降の対応はいたしかねますのでご留意ください。

発表者の皆さまへ

1. 内　容

- **指定講演**：特別講演、教育講演、特別企画、シンポジウム、LIVE の各企画に関しましては開催形態の変更に伴い、講演および抄録の公開は中止といたします。
- **事業報告**：近畿連絡協議会「連携6事業」の報告は、抄録とともに報告用資料を公開いたします（閲覧制限なし）。
- **一般演題**：各演題登録者には事前に開催内容の変更説明を行い、発表の継続希望者のみ学会ホームページにて発表を行います。

2. 発表形式

発表形式は、スライド資料（PowerPoint）のノート機能に口頭説明の内容を記載したものを公開いたします。またこの資料は会員のみが閲覧できるようパスワードにて保護いたします。

3. 発表実績

今回の WEB 開催にて資料（スライド）提出により、ご発表を頂きました方々は学会発表としての実績とみなします。従って生涯教育ポイント（2P）を付与するとともに、他の学会での発表は認められません。また、今後に実績を蓄積するため ISSN（国際標準逐次刊行物番号）の登録を行います。

一般演題

抄　　録

1-01　遂行機能の低下が疑われる患者に対するアプローチの一例
―調理動作の評価から脳梗塞の再発予防につなげる―

○南部 計（OT），木田 知宏（PT），井上 智子（RN），伊藤 空（その他），
安河内 靖（その他）

和松会 六地蔵総合病院

Key word：調理，再発予防，高次脳機能

【報告の目的】今回，アテローム血栓性脳梗塞により，遂行機能の低下が疑われたA氏，80歳代の独居の女性を担当した．自宅退院に向けA氏の調理を評価したところ，調味料の量や回数に注意を払えず，再発関与が危惧された為，作業療法と栄養士による食事指導を実施した．結果，A氏の再発予防に寄与すると考えられたため報告する．本発表について本人および家族より同意を得ている．

【事例紹介】症例はA氏．80歳代の女性．独居．右利き．娘が1人．前職は工場の肉体労働．趣味は読書と遊ぶこと．性格は負けん気が強く，自立心が強い印象．X年Y月Z日，自宅にて脱力，自ら通報し救急搬送される．Z日+30日後，リハビリ目的で当院の回復期に転院する．既往に高血圧と糖尿病．

【画像所見】右前頭葉背外側部を含む，右半球全域に急性病巣が散在．

【作業療法評価】〈身体〉運動麻痺・感覚障害：なし．〈高次脳〉FAB：4/18点．TMT-B：502秒．かな拾いA：10個．BADS：標準プロフィール得点：8/24点．〈生活行為〉FIM：105/126点（運動：78点認知：27点）．服薬管理：飲み忘れ等あり．調理：味付けに注意が払えない．主菜を作りながら副菜の準備を行えない．調理時間が長い（焼きそば：本人予測20分／結果53分）

【介入の基本方針】A氏は再発予防の観点から，独居において調理動作の改善，服薬管理，食生活の改善が課題である．Demand：本人・家族より独居．病棟より服薬管理．栄養士よりバランスの良い食事．Need：高次脳機能の改善．代償方略の使用法練習．本人や家族等への指導と援助．

【作業療法】

1期：機能練習Stroop課題，構成課題等4回／週．

2期：応用練習複数処理課題，TTT，4回／週．

3期：実動作練習

※Goal management training（GMT）参考調理，買物等2-3回／週，生活圏と家屋の調査．3回／月．

※服薬管理1-3期7回／週．

【介入経過】

1期（Z日+2Month）：課題は全体的に緩やかに改善した．構成課題や複数処理課題が変化し2期に移行した．

2期（Z日+3Month）：ハノイが改善し3期に移行した．

3期（Z日+4Month）：TTTはより目標に沿う形になった．複数処理課題では効率的な方略が出現し，作業にゆとりが生まれ苦手な課題にも積極的に取り組む心理的変化がみられた．

【結果】TMT-B：502→262秒．かな拾いA：10→24個．BADS：標準プロフィール得点：8→14/24点．調理は二品を同時に作る方略が出現，調理時間も短縮したが，味付けには注意が払えず，GMTにより調理の最後に一度だけ行うよう手順を確定することが出来た．服薬管理は自立に至らずヘルパーを利用した．また，栄養士による家族・本人への食事指導を実施した結果，独居退院となり再発予防にも寄与できたのではと考える．

【考察】A氏の遂行機能障害はWorking Memoryの低下によりコード化された情報の保持と操作の問題であり，臨床では注意の分配による行動制御の障害と推測される．まず，遂行機能から三村らの報告と用稲らのBADSの因子分析を参考に下位機能を抽出し課題因子とした．機能練習は小西等の報告より，fMRI等で賦活が確認されている課題を実施し，山﨑の報告から下位機能の改善を期待して実動作練習を実施した．また，中村らの報告よりTTTを使用し机上での改善が実動作への般化を期待した．結果，複数の下位機能の改善が確認され，作業にゆとりが生まれ，苦手な課題にも挑戦する心理的変化が出現したことは，A氏のQOLに大きく寄与すると考える．

【参考文献（一部）】

三村將：前頭葉の臨床神経心理学．高次脳機能研究．36.（2）：163-169, 2016.

用稲丈人ら：脳損傷者に実施した遂行機能障害症候群の行動評価（BADS日本版）成績による遂行機能障害の因子分析的検討．高次脳機能研究．29.（2）：247-255, 2009.

1-02 視覚障害支援に伴う社会資源の評価について

Evaluation of social resources associated with visual impairment support

○島本 良重（OT）[1)2)]

1）関西学研医療福祉学院
2）淡路診療所

Key word：視覚障害，環境因子，社会参加

【はじめに】2014年の障害者権利条約批准により，日本における障害者の身体の自由や表現の自由，教育や労働等の権利促進を行うことが定められた．それに伴い，社会資源である公共機関も様々な移動制約者のニーズにきめ細やかな対応が必要となった．具体的には「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン（国土交通省，2019」（以下，接遇ガイドライン）があげられる．しかし，社会資源の情報を対象者が得られず，外出制限や社会参加が困難な例がみられる．中途視覚障害者の支援を通して，OTの評価（社会資源）から目標達成が可能となった．

【目的】「視覚障害に対するリハビリテーションの実践報告」では，リハビリテーション訓練について「実施した訓練では，歩行が8割以上，パソコンが約6割，機器の訓練が約5割」と報告されている．視覚障害者に対する福祉機器選択やそれらを含めた支援は行うものの，対象者数とともに社会資源の評価は限られている様子であった．OTは，「外出等のIADL等の訓練」が業務であり，目標に応じて外出時の公共交通機関情報や評価が必要である．報告では，法令や施策より社会資源について情報収集し得た知見を報告する．

【方法】インターネット，文献より「視覚障害」「公共交通機関」「支援」を検索・情報収集を行う．その結果から，実施主体や実施等について情報整理を行う．

【結果】結果，交通事業者に対して，「ユニバーサルデザイン2020行動計画」（以下「UD2020」）から，一定基準の接遇のありかたが示された（接遇ガイドライン）．それらは，高齢者，視覚障害者を含む障害者等の移動等の円滑化を推進することが目的である．具体例として，交通事業者は法令や「障害の社会モデル」の理解や障害特性にあわせた対応の配慮点等を教育内容に取り組んでいくことであった．視覚障害者には，「可能な限り，支援の要否を確認した上で必要に応じて支援を行う」と示され「予約，改札利用，切符購入」「構内移動」といった項目ごとに接遇方法が記載されていた．

【考察】対象者にとって，公共交通機関は外出手段であり社会参加には必要な手段である．社会資源として交通機関を利用する際にユーザーが，あらかじめ「接遇ガイドライン」のような取り組み，利用方法を知る機会が必要である．

しかし，サービス提供者にはガイドライン等がみられた反面，今回の情報収集からはユーザーである視覚障害者への情報はみられなかった．

様々な法令が成立し，対象者のニーズは拡大している．それは，環境因子である社会資源の変化である．OTは，医学的な側面のみでなく，対象者を取り巻く環境や生活を支援する職種である．それには，OTの業務「外出等のIADL等の訓練」に関連し社会資源まで評価することや，対象者が利用可能な情報を提供することが必要である．

今後は，「読書バリアフリー法（2019，法案成立）」等に伴うサービスについて情報収集を継続し視覚障害者に知る機会を提供できるよう働きかけ行う予定である．

作業療法ガイドライン（2018年度版）：日本作業療法士協会，（オンライン）入手先 www.jaot.or.jp/wp-content/uploads/2018/07/OTguideline（参照日 2019.12.25）

日本作業療法士協会：作業療法白書 2015，（オンライン），入手先 www.jaot.or.jp/whitepaper. html（参照日 2019.12.25）

公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン：国土交通省，（オンライン），入手先 www.mlit.go.jp/common/001230887.pdf（参照日 2019年12月25日）

視覚障害者が日常生活を送るうえで必要な支援に関する調査研究事業，報告書：社団福祉法人 日本視覚障害者団体連合，（オンライン），入手（参照日 2019年12月25日）

次回「第41回近畿作業療法学会」のご案内

第41回近畿作業療法学会

会　期：2021年6月（予定）

会　場：京都府民総合交流プラザ 京都テルサ（予定）
〒601－8047　京都府京都市南区東九条下殿田町70

担　当：一般社団法人 京都府作業療法士会

学会長：齋藤 嘉子（介護老人保健施設 茶山のさと）

第41回近畿作業療法学会は京都で開催されます。

開催日時は検討中ですが、オリンピックなどの関係から6月頃に予定をしております。

2020年の新生活は緊急事態宣言からはじまりました。それとともにテレワーク、WEB会議、働き方改革など、私たちの生活も劇的に変化しました。

時とともに変化してきいていることに気づくきっかけは、多様性を受容することから始まります。京都の近畿学会は、この「多様性」をキーワードのひとつにしたいと考えております。

来年、京都でお会いしましょう。お待ちしております。

第41回近畿作業療法学会
学会長　齋藤 嘉子
（介護老人保健施設 茶山のさと）

第40回近畿作業療法学会

学会組織

学　会　長	天田　美恵	滋賀県立小児保健医療センター
実行委員長	宮武　　恵	介護老人保健施設 ケアポート栗東
実 行 委 員	青野　　豪	滋賀八幡病院
	乙川　　亮	滋賀県庁
	深津　良太	リハビリセンターあゆみ
	藤田　拓郎	済生会滋賀県病院
	横田　　治	滋賀八幡病院

第40回 近畿作業療法学会

発行者：近畿作業療法士連絡協議会

事務局：滋賀八幡病院
〒523-8503 滋賀県近江八幡市鷹飼町744
E-mail：kinki40shiga@gmail.com

出　版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793　FAX：096-386-2025
https://secand.jp/